

摂南大学から世界へ続々

青年海外協力隊の2012年度春募集2次選考に現役合格
同大学は6年連続で現役学生の合格者を輩出！累計30人に

摂南大学（学長：今井光規）外国語学部3年次生の女子学生が、青年海外協力隊の2012年度春募集2次選考に合格しました。この結果、現役学生の合格者は6年連続の輩出となり、累計では国内大学トップの30人になりました。

青年海外協力隊は外務省所管の国際協力機構（JICA）が実施する海外ボランティア派遣事業で、開発途上国の人々のために自分の能力や経験、技術を役立てたい若者を現地に2年間派遣し、住民と生活しながら社会経済の発展に協力する国際的な活動です。

合格した女子学生は技術試験（筆記・面接）において小・中学生を対象とした青少年育成活動の実施、また和歌山県すさみ町の過疎地域活性化活動などが評価され、倍率約9倍の「青少年活動」の分野で合格しました。今後は研修を経て、来年3月末にケニアへ派遣される予定です。さらに、現役学生数人も先輩に続こうと、受験に向けて語学の勉強やフィールドワーク活動などに励んでいます。

青年海外協力隊への合格を強力にサポートするのが外国語学部浅野英一教授（同大学地域連携センター副センター長）。同教授は独自のノウハウで、これまで外国語学部、法学部、理工学部など30人の学生を合格（合格率100%）に導いてきました。派遣先はアフリカ、中東、中南米、アジアなど17カ国にわたり、帰国した学生たちは同大学を卒業後、小学校・中学校教員やJICA職員・NGO職員、貿易会社の社員などの職に就き、海外での貴重な経験を広く伝えるべく、さまざまなフィールドで活躍しています。

近年、若者は海外に飛び出さない、内向き志向だといわれ、また海外留学離れも指摘されています。そのような中、同大学では青年海外協力隊合格のサポートのほか、海外留学制度をはじめ海外インターンシップや開発途上国への国際貢献実習などのプログラムを用意。海外での活動にチャレンジする機会を提供するとともに、学生の意欲を尊重し、グローバル人材の育成に努めています。

*女子学生1人が2度合格しており、パナマ・ドミニカに派遣されています。

【お問い合わせ】

摂南大学外国語学部 浅野研究室

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8 TEL.072-839-9359

摂南大学地域連携センター（担当：小出）

TEL.072-829-0385 FAX.072-829-7888

E-mail:chiiki@ofc.setsunan.ac.jp

【本件発信部署・取材のお申し込み先】

学校法人常翔学園広報室（担当：油井、木村） TEL.06-6954-4026